

2011年度

科目名	コミュニケーション論				
担当教員	井上 徹				
配当	薬学1		コード	11003	
開期	後期	講時	月曜日1限	単位数	2
授業テーマ	人との関係を円滑に				
目的と概要	コミュニケーションは、人と人が理解しあうための第一歩である。このコミュニケーションを心理学の立場から考えていく。コミュニケーションの基本的要素をまず考え、「ことば」の発達についてみる。また異文化間コミュニケーションにおける問題を取り上げる。その後、コミュニケーションの様々な側面について、できるだけ具体的な事例を挙げながら講義していく。				
成績評価法	随時提出を求めるレポート30% まとめの筆記試験70% 受講態度も評価に含める。特に私語は授業を妨害するものであり減点する。				
テキスト	中西雅之 2000 人間関係を学ぶための11章—インターパーソナル・コミュニケーションへの招待 くろしおXブックス				
参考書					
履修に当たっての注意・助言/準備学習	コミュニケーションを知識として理解するだけでなく、身近な問題として振り返って欲しい。 授業前に、テキストの当該箇所を読んでおくこと。				
講義計画					
1	コミュニケーションの基礎	コミュニケーションとは何か。 その概念、意味、基本原理など。			
2	言語的コミュニケーション1	言葉から心理的過程を理解する。 encoding と decoding			
3	言語的コミュニケーション2	子どもの発達とコミュニケーション 言葉と意志動作			
4	言語的コミュニケーション3	文化的背景がコミュニケーションに与える影響 言葉がわかっても、相手の気持ちは理解できない。			
5	対人コミュニケーション1	自己開示 相手に対して、素直に自分を出すことが自己開示			
6	対人コミュニケーション2	自己呈示 相手に対して、「演出」して自分を出すことが自己呈示			
7	非言語的コミュニケーション1	表情・感情の伝達 表情の研究は、ダーウィンから始まった。			
8	非言語的コミュニケーション2	アイコンタクト 目は口ほどにものを言い			
9	非言語的コミュニケーション3	パーソナル・スペース 対人距離もコミュニケーション手段			
10	説得的コミュニケーション1	社会的態度の心理 態度の構造と態度変容の理論			
11	説得的コミュニケーション2	説得の技法 どうすれば効果的に相手を説得できるか			
12	説得的コミュニケーション3	悪徳商法の心理 引っかけからないためにどうすればよいか			
13	メディアコミュニケーション1	都市伝説・流言・流行 うわさの広がりパニック			
14	メディアコミュニケーション2	電話の歴史と新聞・テレビ メディア・リテラシー			
15	授業のまとめ				